

22年7月6日(火)

住民の皆様へ

フンのにおいに耐えてらっしゃいますことについて 不幸なホームレス猫に代わって 感謝を申し上げます。

当方の調査によると、近隣のアパートの住民が猫を置いて引っ越しし、その後、給餌者がどこからともなく給餌に通い、不妊手術を受けさせない為、不幸なホームレス猫が年々、増えたようです。猫を置いて引っ越したといえは聞こえはいいですが『動物遺棄』にあたるのです。

現在、猫の健康状態はあまり良くないようですので、太らせてから去勢不妊手術に運びます。

去勢避妊を受けさせると、
発情しなくなり、発情期の
うるさい鳴き声がなくなります。
また、オスのスプレー（くさい
おしっこの臭い）も激減します。



十分なエサを与えることで
ゴミ場をあさって食い散らかす
こともなくなります。
カラスの問題もありますので、
ゴミは決められた日に出すよう
に心がけましょう。

猫を迷惑だと思う方も多いかと思いますが、猫に罪はないのです。

不妊手術を受けさせたからといって急に猫が減ることはありませんが、増えることはありません。

**ホームレス猫は人による被害動物だと認識し、
ホームレス猫との共存をはかる合憲合法の公益活動（地域猫）**

にご理解のほど、お願い申し上げます。

ボランティア 二本松アニマルポリス
「二本松アニマルポリス」で検索できます
〒960-8066 福島市矢剣町1-1-3 星野節子
024-563-7650 (tel fax)